

市響第442回

合唱集い

2025.10.26 (日) 午後2時開演 (1時30分開場)
市川市文化会館大ホール (JR 総武線・都営新宿線 本八幡駅下車)

入場無料

団員
募集

私たちと一緒に歌いませんか

お問い合わせ：
市川混声合唱団 TEL.047-339-3554 (篠田)

行徳混声合唱団 TEL.047-396-2303 (石井)

主催：市川市交響楽団協会・市川市

協力：山崎製パン株式会社 株式会社伊藤楽器

株式会社全日警



本日のプログラム

第I部

◆市川混声合唱団

混声合唱とピアノのための《花に寄せて》

- I たんぽぽ
- II ねこじゃらし
- III しおん
- IV つばき・やぶかんぞう・あさがお
- V てっせん・どくだみ
- VI みょうが
- VII ばら・きく・なづな

作詩：星野富弘 作曲：新実徳英

指揮：大津康平

ピアノ：鈴木珠美

朗読：松丸 悟（団員）

◆行徳混声合唱団

《白いうた青いうた》 より

- ねむの木震ふ
- 自転車でにげる
- ぶどう摘み
- 北極星の子守歌
- ぼくは雲雀
- 南海譜

作曲：新実徳英 作詞：谷川 雁

指揮：大津康平

ピアノ：谷本喜基

第II部

◆市川混声合唱団 行徳混声合唱団

1. 混声合唱 「ヴィヴァルディが見た日本の四季」

編曲：信長貴富

《春》 花

指揮：大津康平

《夏》 城ヶ島の雨

弦楽アンサンブル：市川交響楽団

《秋》 村祭り

チェンバロ：谷本喜基

《冬》 ペチカ

2. ヴィヴァルディ 「グローリア」 RV589

I. Gloria in excelsis Deo

指揮：大津康平

II. Et in terra pax hominibus

管弦楽アンサンブル：市川交響楽団

III. Laudamus te

オルガン：木村理佐

IV. Gratias agimus tibi

チェンバロ：谷本喜基

V. Domine Deus, Rex coelestis

ソリスト：ソプラノ 中山美紀

VI. Domine Fili unigenite

ソプラノ・アルト 富本泰成

VII. Domine Deus, Agnus Dei

VIII. Qui tollis peccata mundi

IX. Qui sedes ad dexteram Patris

X. Quoniam tu solus sanctus

XI. Cum Sancto Spiritu

プロフィール



常任指揮者／大津 康平 (おおつ・こうへい)

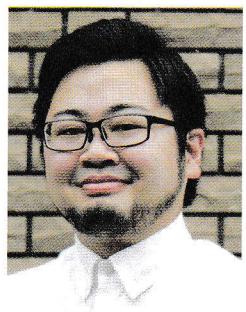
バリトン・合唱指揮者。日本大学藝術学部音楽学科声楽コース首席卒業。卒業時に卒業演奏会に出演、藝術学部長賞を受賞。日本大学大学院芸術学研究科音楽芸術専攻修了、修了時に修了演奏会に出演。声楽を池田直樹氏、指揮法を川本統脩氏、合唱指揮を大谷研二氏に師事。第83回読売新人演奏会に出演、第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会一般部門1位金賞受賞。第13回中田喜直記念コンクール2位銀賞受賞。千葉県合唱連盟、松戸市合唱連盟理事、JCDA日本合唱指揮者協会実行委員、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。



©Martin Chiang

ソプラノ／中山 美紀 (なかやま・みき)

神奈川県出身。東京藝術大学卒業、同大学院独唱専攻修了。卒業時にアカンサス音楽賞及び同声会賞を受賞。これまで全日本学生音楽コンクール全国第3位、国際古楽コンクール＜山梨＞最高位、スペイン国際音楽コンクール優勝など、数々のコンクールで上位入賞を果たす。第24回ABC新人コンサート音楽賞受賞。宗教曲の歌唱に定評があり、中世・ルネサンスから現代までレパートリーは多岐にわたる。これまでに川崎室内管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団等と共演。主な舞台では日生劇場ファミリーフェスティバル「アラジンと魔法の音楽会」に出演。近年は古楽アンサンブル「アントネット」のソリストとして、定期公演やオペラに出演している。《ラ・カリスト》タイトルロール、《リナルド》アルミーダ、《オルフェオ》ムジカ/プロゼルピーナ役などを演じ好評を博す。ヘンデルの歌劇《ジュリオ・チェーザレ》のクレオパトラ役を務めた公演は、第19回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞を受賞、新聞各紙や音楽雑誌で絶賛された。現在松戸市在住。



ソプラノ・アルト／富本 泰成 (とみもと・やすなり)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。世界で通用するトップレベルのアンサンブル歌手になるべく、「Vocology in Practice」「Estill Voice Training」「フースラーメソード」など様々な発声メソードとアカペラの為のイントネーション理論を学ぶ。海外での数多くの国際合唱コンクールや合唱フェスティバルへ参加した経験から、日本でも高いレベルのアンサンブル団体を作りたいと、「emulsion」「Vocal Ensemble歌譜喜」「八重桜」の3つの団体を主宰する。2023年春、アンサンブルの演奏事業と音楽家としての演奏・指導の事業を併せた「株式会社AcappelLabo」を設立。主宰団体以外でもアンサンブル歌手として活動しており、「ヴォーカル・アンサンブルカペラ」「vocalconsort initium」にメンバーとして参加。東京混声合唱団レジデントメンバー。発声を小久保よしあき、稻幸恵、角田紘之の各氏に、声楽を菅英三子、渡辺健一、上杉清仁、川上洋司、赤沢啓子の各氏に、古楽演奏を花井哲郎、アカペラ・イントネーション理論を犬飼将博、合唱指揮を柳嶋耕太の各氏に師事。コーラス・ピーカブー、東京大学白ばら会合唱団、アンサンブルひろひろ指揮者。合唱団フォンス・フローシス、モーツアルト記念合唱団指導アシスタント。市川混声合唱団、大久保混声合唱団、行徳混声合唱団ヴォイストレーナー。

ピアノ／鈴木 珠美 (すずき・あけみ)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノをクロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に、指揮法を高階正光氏に師事。国立音楽大学千葉県同調会コンサート、市川市文化会館新人演奏会に出演。家永音楽事務所ピアノオーディションに合格。同事務所ジョイントリサイタルではスクリヤピン、ラフマニノフ、リスト等の作品で好評を得る。モーツアルト「ピアノ協奏曲第21番」、グリーグ「ピアノ協奏曲イ短調」を市川交響楽団と共に演奏。ストラヴィンスキー「ペトルーシュカ」などのオーケストラ作品にも出演。R・フリーダー氏(ウイーンフィル首席チェリスト)をはじめ、多くのソリストの伴奏、室内楽、合唱など、幅広い演奏活動を展開している。

ピアノ・チェンバロ／谷本 喜基 (たにもと・よしき)

和歌山県出身。幼少期よりピアノを嗜み、高校在学中に声楽を始める。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。現在は都内を中心に数々の合唱団の音楽監督、指導者を務めるほか、指揮者、ピアニスト、歌手、イングリッシュハンドベル奏者、またアレンジャーなど多岐にわたる活動を展開している。2025年3月には役者としてデビューし、望海風斗主演舞台「マスタークラス」(演出:森新太郎)の伴奏者マニー役として全国4都市での公演に出演した。これまで声楽を鎌田直純、吉田浩之、中嶋俊晴、ピアノを原田泉、滝浪ゆかり、白石光隆、チェンバロを廣澤麻美、通奏低音奏法を重岡麻衣の各氏に師事。音楽団体「イコラ」代表。Official Website: <https://tanimotone.com>

プログラムノート

第I部

《市川混声合唱団》

混声合唱とピアノのための『花に寄せて』

作詞者・星野富弘は24才の時、脊髄損傷で手足の自由を失い、口に筆をくわえて詩画を描き続けた。作曲者の新実徳英は星野の詩画集『風の旅』の中から共通するテーマを持つ二、三篇を一曲にまとめる構成を取り、この「花に寄せて」を合唱組曲として上梓した。新実に紹介されたこの詩は彼にとっては衝撃であり、「生きる希望、生きる勇気を与えることこそ芸術の存在理由だと私は信じているのだが、この詩画集の著者はまさにそれを私に与えてくれた」と新実は述べている。「平易で何の衒いもないのに、大きな障害を持ったがゆえにつむぎ出される珠玉のことばは人間の一番きれいな部分が結晶したかのように感じられる。それゆえ、練習中何度も泣いて歌えなくなる生徒らがおり、子供たちの中に人を思いやる温かい心が育つ様を目の当たりにして、私も涙するのでした」と合唱指揮者の高嶋昌二氏は述べている。

本日は曲の演奏の前に、一曲ずつこの詩を朗読してお届けしたいと思います。

《行徳混声合唱団》

「白いうた青いうた」より

作曲家がまず先に旋律を作り、詩人が歌詞を付けるという順序で作られ、『三世代のための曲集』として発表された全53曲の中から、本年は「ねむの木震ふ」「自転車で逃げる」「ぶどう摘み」「北極星の子守歌」「ぼくは雲雀」「南海譜」の6曲を演奏します。

打楽器付、手拍子入りの曲を含めて、自由で美しいメロディとさまざまなリズムの曲に、彩りを加える奥深く味わいのある詩の織り成す世界を感じていただければ幸いです。

行徳混声合唱団では、2022年から合唱の集い、市民合唱祭、公民館文化祭のステージで「白いうた青いうた」を大切に歌い続けています。

指揮の大津康平先生と本年からピアニストとして加わっていただいた谷本喜基先生、新入団員とベテラン団員全員のコラボレーションをお楽しみください。

第II部

Antonio Vivaldi

アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741)

1678年にヴェネツィアに生まれたヴィヴァルディは、サンマルコ大聖堂の礼拝堂付き奏者の父からヴァイオリンと作曲の手ほどきを受け、1703年以降は聖職者の務めのかたわら、多くの作品を発表した。1703年から1740年までは、断続的ではあったが市内のピエタ慈善音楽院で作曲家、教師、音楽総監督を務め、イタリアきってのヴァイオリン奏者として、ヨーロッパ各地で室内楽やオペラの演奏・指揮にあたった。器楽曲643、宗教曲(オラトリオ、ミサを含む)が67、カンタータ、セレナータ類が推定32作品、上演地が確定しているオペラの51作品が今日まで伝えられている。



〈ヴィヴァルディが見た日本の四季〉

編曲 信長貴富

ヴィヴァルディの器楽曲の中でも最も人気があり、演奏を耳にする機会も多い四季と永く歌い継がれている日本の歌曲の組合せにより産み出された曲集。四季の各曲にはイタリア語の詩文(ソネット)が付されており、器楽と日本歌曲の抒情詩とが、ある部分では自然になじんで郷愁を伝え、またある部分では軽やかに弾みあって、音楽に楽しさをもたらしています。バロック音楽のスタイルと近代歌曲の融合による新しい四季のうたを、市川混声合唱団、行徳混声合唱団、市響弦楽アンサンブルとチェンバロの協演で演奏いたします。

〈ヴィヴァルディ グローリア〉(RV589)

彼の宗教的作品の代表作として1713年から1717年頃の作とされ、彼の他の作品同様に、楽譜に残されている、または楽譜に書かれていない当時の演奏習慣などについての探求が、今日多くの研究者、愛好家によって続けられています。ミサの第2部を主題として、敬虔さを重んじながらもバロック音楽の華麗さ、軽やかな美しさと繊細さを満載したヴィヴァルディらしい傑作を本日は2人の独唱と4声の合唱にオーボエ、トランペットを加えた市響管弦楽アンサンブルとオルガン、チェンバロの豪華な布陣でお届けします。300年の時を超えて、ヴェネツィアの風を感じていただければ幸いです。



Gloria

栄光の賛歌

Gloria in excelsis Deo.

天のいと高きところには神に栄光がありますように。

Et in terra pax hominibus
bonae voluntatis.

そして地上では、平和が善意の人々に
ありますように。

Laudamus te, benedicimus te,
adoramus te, glorificamus te.

私たちはあなたを賛美します、あなたを賞賛します、
あなたに祈りを捧げます、あなたに栄光がありますように。

Gratias agimus tibi
propter magnam gloriam tuam.

私たちはあなたに感謝をささげます、
あなたの大きな栄光のゆえに。

Domine Deus, Rex coelestis,
Deus Pater omnipotens.

神なる主よ、天の王よ、
全能の父である神よ、

Domine Fili unigenite, Jesu Christe.

独り子である主よ、イエス・キリストよ。

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

神なる主よ 神の小羊よ、父の御子よ。
世の罪を取り除かれるお方よ、私たちを憐れんでください。

Qui tollis peccata mundi,
suscipte deprecationem nostram.

世の罪を取り除かれるお方よ、
私たちの願いを受け入れてください。

Qui sedes ad dextram Patris,
miserere nobis.

父の右に座すお方よ、私たちを憐れんでください。

Quoniam tu solus sanctus
Tu solus Dominus, Tu solus altissimus,
Jesu Christe.

なぜならば、あなたのみが聖、あなたのみが主、
あなたのみがいと高き方であるからです、
イエス・キリストよ。

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris,
Amen.

あなたは聖霊とともに、父なる神の栄光のうちにあら
れます。アーメン。



本日の出演者

『市川混声合唱団』

【ソプラノ】 石原 友子 岩崎 佳代子 岩澤 和子 浦川 典子 江藤 寛子 大坂 正美
小野 登美子 小宅 裕美 各務 栄子 加藤 晶子 小久保 陽子 庄司 映路子
関内 広子 中澤 冬里 中野 かよ 並木 美智子 牧野 真奈美 増島 明子
松本 芳枝

【アルト】 伊藤 敦子 井山 ひとみ 岡部 裕美 加藤 康美 桑村 和子 澤田 通代
篠田 妙子 菅谷 明子 内藤 富士子 原山 一枝 松波 圭子 山村 澄子
横塚 英子 松原 加代子 松丸 美恵子 山口 英子

【テノール】 川喜田 大亮 久米 英廣 小松 文和 中澤 一紀 松丸 悟 渡辺 利之

【バス】 天田 祐之 井山 利秋 榎本 貞次 岡本 慎一 加藤 幹雄 篠田 要衛
野平 匡邦

『行徳混声合唱団』

【ソプラノ】 青山 裕子 伊藤 和子 及川 清子 大島 信子 沖本 正子 亀尾 真理
川又 京子 木附 利枝子 小林 妙子 小林 朋子 徳永 京子 古谷 ヤス子
松本 孝子 森 恵美子

【アルト】 小林 美江子 酒井 綾 佐藤 和子 佐藤 久美子 対田 志野子 土井 詩子
福田 廣美 馬場 千鶴子 西井 玲子 野瀬 富美子

【テノール】 中川 保典 名倉 秀治 Long Nguyen (ロン グエン)

【バス】 石井 省二 城戸 菁爾 小出 健二 佐藤 洋幸 中原 晃治

『市川交響楽団』

【コンサートミストレス】 立田 祥子
【第1ヴァイオリン】 皆合 愛子 三野 彰久 渡辺 みどり
【第2ヴァイオリン】 中島 雪香 武藤 敦子 牧田 太郎 柳澤 敦子
【ヴィオラ】 内田 綾美 谷口 善樹 奈良林 弘子
【チェロ】 泉谷 良枝 八重樫 妙子
【コントラバス】 小林 真弓
【オーボエ】 二村 直子
【トランペット】 八木 巧次
【オルガン】 木村 理佐
【チェンバロ】 谷本 喜基

団員募集

来年の合唱の集いは10月18日(日)です。

合同曲は 三善 晃:童声・混声合唱と2台のピアノのための「日本の四季」です。
ご一緒に歌いませんか。